

生産体制・技術確立支援事業（新品種・新技術の確立支援事業）に関する事業評価票

番号	事業実施主体名	新品種・新技術等の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
					基準年 (計画策定時) 平成30年	目標年 令和3年		
1	福岡県	高品質なシャインマスカットの安定生産技術の確立	H31年度 (R1年度)	シャインマスカットの安定生産技術を確立し、産地に導入する。	—	栽培技術に関する手引き（「シャインマスカット」栽培マニュアル）が令和3年3月に完成し、県内の技術員に配布した。 栽培面積R1 32ha⇒R3 48ha、生産量同352t⇒同497t	・事業検討会、設計、成績検討会 ・プロジェクト会議 ・実証ほの設置・現地検討会 ・先進地調査・市場調査 ・栽培マニュアルの作成	栽培マニュアルを作成し、技術員に配布するとともに、生産農家に対して高品質ぶどうの栽培指導を行っている。栽培面積の拡大及び生産量が増えており、産地形成が図られていることから、成果目標は達成した。
2	福岡県	大豆「ちくしB5号」の普及推進	H31年度 (R1年度)	大豆新品種「ちくしB5号」について関係機関と連携して行う実証等を通じて生産技術に関する手引きを作成し、産地への導入、定着を図る。	—	栽培技術に関する手引き（ちくしB5号栽培マニュアル）が令和3年3月に完成し、県内の技術員配布するとともに、栽培チラシを作成し生産者へ配布した。 栽培面積もR2 15ha⇒R3 26ha と増え、産地への導入が進んだ。	・設計検討会、成績検討会 ・実証ほ設置（県内10ヶ所） ・関係機関による現地検討会 ・近隣県への視察調査 ・生産技術マニュアルの作成	栽培マニュアルを作成し技術員に配布するとともに、生産農家向けの栽培チラシを作成し配布・指導を行っている。栽培面積が拡大し産地への導入が図られていることから、成果目標は達成した。
3	鹿児島県	輸送性に優れた新品種いちご「恋みのり」の生産技術の確立	H31年度 (R1年度)	新品種の生産技術確立により、産地導入による面積拡大を図る	—	事業前は試作栽培を開始した1JA(4戸0.5ha)であったが、事業により2JA(9戸0.6ha)に増えた。生産者にも「恋みのり」が周知されてきており「さがほのか」から作付全部を切り替える生産者もでてきた。	・品種特性把握と栽培技術の習得 ・生産者への情報提供、生産者育成 ・市場、実需者との情報交換 ・栽培・技術マニュアルの作成（育苗暦、栽培暦、導入手引きの作成）	栽培マニュアルを作成し、生産農家へ情報提供を行うとともに、恋みのりの生産農家を育成することで栽培面積を拡大している。生産農家や市場での評価もよく、作付面積全部を恋みのりに切り替える生産農家もあり、成果目標は達成した。

生産体制・技術確立支援事業（新品種・新技術の確立支援事業）に関する事業評価票

番号	事業実施主体名	新品種・新技術等 の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
					基準年 (計画策定時) 平成30年	目標年 令和 3 年		
4	鹿児島県	「トルコギキョウ」の冬春期無加温栽培における適品種の選定・普及による産地育成	H31年度 (R1年度)	無加温ハウスによる冬春期 2 度切り生産技術の確立や産地に適した品種の選定を図り、産地全体に普及させる。	—	産地の生産者全て(16戸)が 2 度切り栽培を実施した。 有望品種を 6 品種選定し、産地に導入したことから、出荷本数が増加した。 出荷本数R1 54万本⇒R3 59万本	・無加温ハウスによる冬春期 2 度切り栽培技術実証 ・栽培適応性の実証 ・反収や収益向上等の経営検討 ・国内主要産地の生産状況調査 ・適品種の選定・普及 ・実需者評価 ・適品種の栽培特性をまとめた手引きの作成	産地に適した有望品種を導入するとともに、産地の生産農家全てに新技術の普及・推進を行った。これにより出荷本数が増えていることから、成果目標は達成した。
5	鹿児島県	新品目「ソリダゴ」の産地育成に向けた技術確立	H31年度 (R1年度)	産地や市場のニーズを反映した生産技術を確立し、産地に導入する。	—	新規栽培者に対して技術指導を行うとともに、市場や実需者ニーズの把握により、導入後は生産者が 5 戸に増え、栽培面積も90aに増加した。	・ソリダゴの栽培技術の把握と技術課題の整理 ・試験研究機関や先進産地の情報収集 ・生産者向け栽培マニュアルの作成、配布 ・ソリダゴ生産者への栽培技術指導 ・定植作業省力化技術の確立 ・市場や実需者との情報交換	産地に適応した生産農家向け栽培マニュアルを作成し生産農家へ配布・技術指導を行ったことから、栽培戸数・面積が拡大している。ソリダゴ産地となるための基礎的な体制が整ってきていることから、成果目標は達成した。